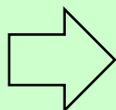


きめ細やかな栽培管理による高品質な島らっきょうの生産を目指して

経営体の概要

経営開始当初（平成25年）
 基幹作物：（露地）島らっきょう0.2ha
 経営面積：0.2ha
 （うち畑かん未整備0.2ha）



現在（令和元年）
 基幹作物：（露地）島らっきょう0.73ha※
 （露地）アスパラガス0.03ha
 経営面積：0.76ha
 （令和5年に畑かん整備完了予定）

※さとうきびとの輪作体系を組んでいるため、一部さとうきびを含んでいる。

取組の経緯等

本経営体の経営者は、沖縄本島の高校に在学していた頃、観光客が那覇市内で島らっきょうを大量に購入している光景を見て就農を決意し、その後帰島して平成25年に就農している。就農当初から現在まで、畑地かんがい施設が未整備のほ場で島らっきょうやアスパラガスの栽培に取り組んでいるが、農業用水は給水所からトラックで運搬し、ほ場近くに設置したタンクに貯めて利用するなど、用水確保に多大な労力を要している。

令和5年には、関連事業による畑地かんがい施設の整備が完了する予定であり、その後は、かん水に係る作業の省力化及びハウス栽培の導入によって、島らっきょうの更なる経営規模の拡大等を目指すこととしている。

営農改善のポイント

①栽培技術の確立・向上

現在は、給水所からの運搬に1日10往復、約2時間を要するなど、かん水作業に多くの手間をかけている中で、さとうきびや緑肥と輪作体系を組むことで連作障害を回避しつつ、丹念な除草や出荷前の薄皮むき等の手間を惜しまないなど、品質や見栄えにこだわった島らっきょうの生産に取り組んでいる。また、減農薬栽培を目指し、関係機関の協力の下で天敵温存植物※を利用した害虫防除にも試行的に取り組んでいる。

※作物の側に植えて病害虫の天敵の住処をつくるもので、栽培している作物を守るための植物。バンカープランツともいう。

アスパラガスの露地栽培
 （ほ場近くに天水をためてろ過装置（中央）を通してかん水）



天敵温存植物（クレオメ）
 を利用した害虫防除試験



②流通・販売の工夫

販路開拓に当たっては、宿泊施設や飲食店に直接出向いて営業を行うことで、取引先を拡大している。取引先からの紹介やSNSを通じて新規顧客の獲得にも取り組んでおり、離島が有する条件不利を感じさせない経営を行っている。

島らっきょうほ場と
 出荷前の島らっきょう

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
 関係市町：伊江村
 受益面積：668ha
 事業期間：平成16年度～29年度
 事業目的：畑地かんがい、用水改良
 主要工事：地上ダム 1箇所
 ファームポンド 2箇所
 揚水機場 2箇所
 用水路延長 9.0km
 中央管理所 一式

位置図（沖縄県）



<局問い合わせ先>
 沖縄総合事務局
 農村振興課 広域調査係
 電話：098-866-1652
 （内線：83342）

（令和元年調査時点）